

9月9日は『救急の日』

救急医療週間 9月6日(日)～12日(土)

救急の日とは、「9(きゅう)9(きゅう)」の語呂合わせから、救急医療関係者の意識を高めるとともに、救急医療や救急業務に対する国民の正しい理解と知識を深めることを目的として、昭和57年に厚生労働省によって定められました。

また、「救急の日」を含む1週間を「救急医療週間」として、応急手当の講習会を中心とした救急に関する様々な行事が、全国各地で実施されています。

千曲坂城消防本部では救命講習を行っています！

～大切な人を助けるために受講しませんか？～

・救命講習とは・・・？

救命講習とは、救急車が到着するまでの間、そこに居合わせた人が、傷病者の命を助けるために、心肺蘇生法やAEDの使い方等を学ぶことが出来る講習です。

・開催日程

日時：~~9月8日(火) 8:30～12:30~~

場所：~~戸倉上山田消防署~~

予定されていた救命講習は、新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため中止となりました。今後の予定は、消防本部のホームページをご覧ください。

・留意事項

◇講習は、上記日程以外にも実施しています。詳しい内容につきましては、千曲坂城消防本部のホームページをご覧ください。

◇新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、講習会を急遽、中止とさせていただく場合があります。その際にはご了承頂きますようお願い致します。

問い合わせ先

千曲坂城消防本部

警防課 救急救助係

電話 (代)026-276-0119



あなたの**勇気**が、**命**を救う— 心肺蘇生法

もしあなたの目の前で人が倒れたら、どうしますか？救急車の平均到着時間は※8.7分といわれています。心停止から1分ごとに、救命率は7～10%下がります。その間に、あなたに出来ることがあります。

※令和元年版 救急救命の現況より

1 119番通報とAEDの手配



大丈夫ですか！

救急車を呼んでください！



AEDを持ってきてください！

2

普段通りの呼吸がなければただちに
胸骨圧迫（心臓マッサージ）を開始！



強く

胸が5cm
沈むように圧迫

早く

1分間に
100～120回のテンポ

絶え間なく

中断は
最小限に

新型コロナウイルス（COVID-19）が流行している状況では
すべての心停止傷病者に感染の疑いがあるものとして対応

- 倒れている人がマスクをしていたら、外さずに胸骨圧迫を開始し、マスクをしていなければ、口と鼻に布をかぶせてから開始しましょう。
- 成人の心停止に対しては、人工呼吸を行わずに胸骨圧迫とAEDによる電気ショックを実施して下さい。
- 小児の心停止に対しては、人工呼吸ができる場合は胸骨圧迫に人工呼吸を組み合わせて実施して下さい。感染の危険などを考え人工呼吸を行うことにためらいがある場合には、胸骨圧迫だけを続けて下さい。

3 AEDで除細動 （電気ショック）

AEDが到着したら電源を入れて（ふたを開けると電源が入る機種もあります）電極パッドを装着し、音声ガイドに従います。



みんな離れて！

電気ショック後
ただちに胸骨圧迫
（心臓マッサージ）
を再開します。

除細動ボタンを押すときは、
「みんな離れて」と声を出し、
手振りも使って離れるように
指示します。



「救急蘇生法の手順」をチェックしましょう。

🔍 救急蘇生法

検索



携帯電話をご利用の方はこちら



9月9日は**救急の日**、9月6日～12日は**救急医療週間**

お問い合わせは、地域医師会、日本赤十字社、消防署まで。



日本医師会

<https://www.med.or.jp/>